

小学校の統合等に関するアンケート調査（保護者） 調査最終報告書について〔概要〕

I アンケート調査実施の概要

1. 調査の目的

村山市内の保護者等に小学校の統合等に関するアンケート調査を行い、『村山市立小学校統合基本計画』策定に反映させるため実施した。



2. 実施時期 令和5年7月

3. 調査対象と回収率

- | | | | |
|----------------|---------|--------|----------------|
| (1) 市内小学生等の保護者 | 1,546 人 | 回収数（率） | 1,113 件（72.0%） |
| (2) 市内小中学校教職員 | 145 人 | 回収数（率） | 136 件（93.8%） |

〈参考〉令和2年10月実施『小学校の適正配置等アンケート調査』

保護者 1,819 人 回収数（率） 1,330 件（73.1%）

教職員 141 人 回収数（率） 135 件（95.7%）

◇令和2年より回答者数は減ったが、回収率は同程度である。

4. 調査の項目

- (1) 自身〔保護者〕のことについて（小学校区・子どもの校種）
- (2) 小学校の在り方について（少子化への対応）
- (3) 小学校の統合について（配置・時期）
- (4) 学校形態と場所について
- (5) 学童保育について
- (6) 小学校の教育について
- (7) 意見・要望

II アンケート調査結果について

1. 自身〔保護者〕のことについて（小学校区・子どもの校種）

(1) 小学校区について

東部地区小学校 保護者数 831人（74.7%）

西部地区小学校 保護者数 273人（24.5%）

楯岡小学校が全体の 59.8% を占める。

※回収したアンケートの内9件は無回答のため地区が定まらず回収数と不整合となっている。

〈参考〉令和２年１０月実施『小学校の適正配置等アンケート調査』

東部地区小学校 保護者数 9 1 7 人 (69.0%)

西部地区小学校 保護者数 4 0 7 人 (30.6%)

楯岡小学校が全体の 54.0% を占める。

◇小学校区では、楯岡小学校が市内の６割近くを占めている。実数は減少している中で、特に西部地区の減少率が著しい。

２．小学校の在り方について（少子化への対応）

児童数が減少していることへの対応

- ・小規模になった小学校について統合を進める 82.5%

〈参考〉令和２年１０月実施『小学校の適正配置等アンケート調査』

- ・小規模になった小学校について適正配置（統廃合）を検討する 77.4%

◇統合を進める意識は、３年前のアンケートよりも５ポイントほど上がっている。また、統合を進める理由は、「良好な教育環境の整備を図るためには、ある程度の学校規模が必要」が、41.7%でトップである。

３．小学校の統合について（配置・時期）

（１）配置について

- ・東西２校の配置 91.6%

◇東西２校案が圧倒的である。

（２）統合の方法

・東部地区	順次、楯岡小に統合	2 8 9 人 (45.2%)
	同時に楯岡小に統合	3 3 7 人 (52.7%)
	その他	5 人 (0.8%)
	無回答	8 人 (1.3%)
・西部地区	近隣の学校から統合	5 2 人 (25.9%)
	同時に１校に統合	1 4 2 人 (70.0%)
	その他	3 人 (1.5%)
	無回答	4 人 (2.0%)

◇東部地区については、「同時に楯岡小に統合」が過半数を占める。学校ごとに見ると、西郷小は「同時に楯岡小に統合」が多い。袖崎小は「順次、楯岡小に統合」が多い。西部地区は、圧倒的に「同時に１校に統合」が多い。

(3) 時期について

・ 東部地区	5 年以内に (R10 までに)	3 5 0 人 (52.2%)
	10 年以内に (R15 までに)	2 8 7 人 (42.8%)
・ 西部地区	5 年以内に (R10 までに)	1 4 7 人 (67.1%)
	10 年以内に (R15 までに)	6 1 人 (27.9%)

◇東部地区において、「5 年以内」、「1 0 年以内」の問いに楯岡小はほぼ半々であったが、西郷小、袖崎小は、ともに「5 年以内」のほうを上回った。

4. 学校形態と場所について

(1) 学校形態について

・ 東部地区	従来型学校	4 4 1 人 (65.8%)
	一貫型学校	1 6 2 人 (24.2%)
	義務教育学校	5 0 人 (7.5%)
・ 西部地区	従来型学校	9 6 人 (43.8%)
	一貫型学校	1 0 0 人 (45.7%)
	義務教育学校	2 2 人 (10.0%)

◇東部地区においては、「従来型学校」が65%を超えている。
西部地区は、「一貫型学校」が最も多いものの、「従来型学校」と差はない。
しかし、「一貫型学校」の一種である「義務教育学校」の数値も加えると、
55.7%となり過半数に達する。

(2) 場所について

・ 東部地区	楯岡小学校の校舎	5 8 6 人 (87.5%)
	その他	7 4 人 (11.0%)
	無回答	1 0 人 (1.5%)
・ 西部地区	葉山中学校周辺	1 6 1 人 (73.5%)
	既存の小学校の校舎	4 2 人 (19.2%)
	その他	1 1 人 (5.0%)
	無回答	5 人 (2.3%)

◇東部地区については「楯岡小学校の校舎」、西部地区については「葉山中学校周辺」が、圧倒的に多い。

5. 学童保育について

(1) 学童保育施設の場所について

◇ 6割を超える保護者が、「統合後の学校の近く」を望んでいる。しかしながら、袖崎小学校と富並小学校の保護者の多くは、「現在の場所（現在の小学校区に所在）」を望んでいる。

6. 小学校の教育について

(1) 小学校で子どもにつけてほしい力

◇ 各小学校とも最も高い数値であったのが「仲間とともに協力する力」であった。次いで「思いやりの心」、「礼儀やマナー」、「夢や希望をもち、かなえようとする力」と続く。

7. 意見・要望

◇ 自由記述については、上記アンケート質問内容以外のものも多々寄せられた。たとえば、楯岡小学校の駐車スペースのことや、楯山の安全性、スクールバスのこと、経費のことなどである。ていねいに読み取り、検討材料にさせていただきたい。また、統合を急ぐ声も多々あった。

Ⅲ まとめ

1. アンケート結果を受けて

(1) 東部地区について

- ・ 楯岡小学校校舎に統合
- ・ 従来型学校
- ・ 時期はできるだけ早く
児童数を勘案し、段階的統合（袖崎小から）か、同時統合かは、今後の検討
- ・ 学童保育施設は楯岡小学校近くの声が多い

(2) 西部地区について

- ・ 葉山中学校周辺に建設
- ・ 小中一貫型学校
- ・ 時期はできるだけ早く
- ・ 学童施設は小学校に併設

以上のように、まとめることができる。村山市立小学校統合計画策定委員会を中心に、アンケート結果を参考にしながら検討を重ね、村山市の子どもたちの未来のために、統合基本計画をまとめていきたい。